

宮城県における死亡野鳥の検査結果が判明しました。

中丹家畜衛生情報（No. 23-39）

平成24年1月発行

宮城県角田市において死亡したオオハクチョウ2羽のうち1羽が遺伝子検査陽性でしたが、確定検査の結果、インフルエンザウイルスは分離されませんでした。

【経過】

- 12/26： オオハクチョウ2羽の死体回収
簡易検査陰性
- 1/ 4： 2羽のうち1羽で遺伝子検査でA型
インフルエンザウイルス検出
発生地周辺10km圏内を野鳥監視重点
地域に指定
- 1/10： 確定検査ではウイルスは分離されず
野鳥監視重点地域を解除



※参考

遺伝子検査では、死んでいるウイルスに反応し、陽性となることがあります。今回のウイルスが分離されなかった事例は、回収時点において生きているウイルスを保有していなかったことが考えられます。

韓国の鴨農場の検査結果はまもなく判明します。気をゆるめず予防対策を徹底、特に鶏舎出入口での消毒を厳密にお願いします！

- 1 野生動物 侵入箇所がないか再確認！
侵入防止対策
- 2 防鳥対策 網目2cm角以下の防鳥ネットを張り、野鳥等の侵入を防止。破損箇所の点検！
- 3 人・車両対策 出入り口でウイルスを遮断！
 - ・農場専用の手袋、作業靴、作業衣の着用。
 - ・鶏舎出入口の踏込み消毒槽による消毒。
 - ・消石灰散布による消毒。
- 4 飲用水対策 飲み水の消毒の徹底！



～死亡鶏の増加等の異常を認めたら、直ちに当所に連絡願います～

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2

TEL：0773-25-1860（夜間・休日も転送機能で連絡可能）